

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市障害者自立支援施設	施設 所管課	健康福祉部社会福祉課 0480-43-1111（内線709）
指定管理者名	社会福祉法人幸手市社会福 祉協議会	指定期間	令和 3 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 3 1 日まで（5 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか			
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか			
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか			
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		3	3
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	66 88	66 88

総括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	別紙のとおり

総合 評価	特記事項 別紙のとおり	A
----------	-------------	---

評価 区分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市障害者自立支援施設

総括（指定管理者の自己評価）

・ご利用者一人ひとりの特性やニーズに応じた個別支援計画を作成し、計画に基づいた適切な支援を行った。

・虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修やチェックリストを実施することでご利用者の権利擁護に努めた。

・感染症予防及びまん延防止のための指針に則り、感染症対策として、検温、マスクの着用、手指消毒を励行し、感染予防に努めた。また、ご利用者が感染症等に罹患した場合は、ご家族との連絡を密に行い、健康状態の把握や不安の解消に努めた。

・就労継続支援B型サービスでは、ご利用者の特性や強みを活かした授産作業を提供した。また、施設外就労として権現堂公園2号・3号公園トイレ清掃業務を受注し、ご利用者の就労機会の確保及び工賃の向上を図った。

・施設内の清掃や樹木の剪定、消毒、軽微な修繕は職員が行い、経費削減に努めた。

・さくらの里の所外活動として宿泊研修、工場見学を実施した。所外での活動を通してご利用者に社会体験の場を提供するとともに製造の現場や働く人々を直接見ることで就労意欲の向上を図った。

・さくらの里では、令和7年6月23日（月）より既存の送迎サービスを拡充し、対象者を増やすことでご利用者及びご家族の満足度の向上を図った。

・なのはなの里の所外活動として工場見学、商業施設での買い物体験を行った。事業実施にあたっては、ご利用者の特性を考慮して2グループに分かれて実施し、所外での活動を通して社会参加の促進と心身の活性化を図った。

・なのはなの里では、権現堂公園を中心にドライブに出かけ、桜、紫陽花、曼珠沙華、水仙といった四季折々の草花を見学し季節を感じる活動を提供した。また、花壇でさつまいもやミニトマトを育て、自然にふれ収穫する喜びを感じる機会を設けた。ミニトマトは採れたてを食べ、さつまいもは食べやすい形状にした手作りのおやつを作り、味わう楽しさを感じる活動を提供した。

・なのはなの里では、令和6年5月より実施している送迎サービスについて、ご家族の事情等により送迎が困難となったご利用者に対し、臨時的な送迎を行いご家族の負担軽減に努めた。

・なのはなの里では、活動や行事の写真をまとめたスライドショーを作り、ご家族や関係機関の方に視聴する機会を設けて情報発信を行った。特にご家族から楽しく過ごしている様子がよく分かると好評だった。

総括（施設所管課の評価）

・両施設において、各利用者における個別支援計画の作成及び振返りに伴う面談を全ての利用者に対して十分な時間を確保して実施するとともに、全ての利用者に対して連絡帳を活用し、施設における日々の活動内容の報告や家庭内での出来事等情報収集に努め、適宜利用者ニーズを把握するなど、そのニーズの達成に向けた検討や取組みを行った。

・さくらの里では、就労継続支援B型の基本となる施設内での作業について、利用者の特性に合った作業種の提供が図れた。また、施設外就労としての権現堂公園2号・3号公園トイレ清掃業務を行うなど、就労機会の提供及び利用者の工賃向上と併せて、地域社会への参加、交流の機会を提供し、利用者が地域の担い手の一人として地域社会を創っていく地域共生社会の実現に寄与した。

・なのはなの里では、花見ドライブとして四季折々の自然の鑑賞や、施設での草花の育成、お楽しみ会での幸手市しあわせ応援大使のポニーの「デコポン」とのふれあいなど自然や動物と触れ合う機会の提供による利用者の心身の健康の維持・増進のための支援や、外食体験や所外活動など社会参加の機会の提供など様々なサービスの提供を行った。

・さくらの里では、送迎サービスの拡充により送迎対象者を増やす取組の実施、なのはなの里では既存の送迎サービスに加え利用者ご家族の事情を酌んだ臨時的な送迎を実施するなど、利用者ニーズに応える取組を行った。

総合評価（特記事項）

各利用者の特性に応じた対応に努め、全ての利用者に対して十分な時間を確保した丁寧な面談を実施するなど、個別のニーズに応じた支援を行うことができた。

施設の利用に係る苦情は年間をとおして1件もなく、送迎に関する要望への対応を行うなど、施設利用に係る一定の評価を得ることができた。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市営釣場 神扇池	施設 所管課	建設経済部商工観光課 0480-43-1111（内線592）
指定管理者名	公益社団法人幸手市シル バー人材センター	指定期間	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 9 年 3 月 3 1 日まで（2 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		4	4
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		4	4
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		4	4
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		4	3
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	79 100	78 100

総括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	別紙のとおり

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評価 区分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市営釣場 神扇池

総括（指定管理者の自己評価）

利用者数及び利用料金収入の設定については、指定管理者の応募の際の目標値をそのまま採用しました。当初の目標でも年々利用者数等が減少するという見込みをしておりましたが、令和7年度は夏の猛暑や10月の魚類の大量へい死による影響で目標の達成には至りませんでした。大量へい死に関しては、猛暑等の環境変化によるもので、避けられない事象であったと考えております。ただ、水車等の設備が稼働していれば、多少状況は違っていたかもしれません。当センターとしては、水質改善のために急遽、水底活性器を2基導入するとともに、薬剤投入や水中ポンプ等の24時間稼働を行って対処いたしました。

大量へい死の際には、スタッフを適正に増員配置し、死魚回収を迅速に行ったことで最小限の期間で営業再開することができたところです。営業再開後は、水質の安定策が功を奏し、死魚数は減少となりました。また、放流事業者との協議を密に行い、放流時期の調整を行ったことで利用者の不安解消につなげました。

尚、池の外周や県道から池までの道路、駐車場等の除草を行い、周辺環境の整備を行いました。

また、市のPRを兼ね、令和6年度に引き続き幸手産コシヒカリの販売やふるさと納税協力事業者としての運営、更にふるさと納税協力事業者の商品を大会上位入賞者に賞品として贈呈しました。その他、大会の際に甘酒や市内菓子店の商品を無料で提供し、利用促進や市のPRを積極的に行ったところです。

令和7年度は、夏の猛暑や降雨量の減少等が、溜池である神扇池における魚類の生息環境としては非常に厳しい状況となりました。当センターとしては、先に述べたとおり、水底活性器の導入や底泥改善のための薬剤の散布等、できる限りの対応をさせていただきました。又物価高騰や最低賃金の急速な上昇など、不確実な要素が多分にありましたが、最善を尽くさせていただきましたと考えております。

総括（施設所管課の評価）

令和7年度は夏の猛暑や降雨不足のより例年以上に厳しい水質管理を求められるなか、指定管理者において水底活性器の導入や底泥改善のための薬剤の散布等を行い、神扇池の水質改善に取り組んでいました。また、コロナ禍以前から続いている釣り人口の減少のなか、自主事業として釣り大会の実施や、八代小学校の児童を対象としたへら鮒釣りの体験教室など新規の利用者も利用しやすくなるような自主事業を実施し、利用者からのアンケートでも良い評価を得ております。天候による影響等により、今まで以上に厳しい施設管理を求められる状況でしたが、サービスを向上させるため、各種設備のメンテナンスや池の水質改善の実施、各種自主事業の実施などの取り組みは評価できます。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市コミュニティセンター	施設 所管課	市民生活部くらし防災課 0480-43-1111（内線586）
指定管理者名	日本環境マネジメント株式 会社	指定期間	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（2 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		3	3
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	75 100	75 100

総 括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	既存の自主事業の周知を行うなど利用促進に積極的に取り組んでいた。また、利用者アンケートの結果において、大変満足・満足との回答が接客態度では96.6%、清掃状況では97.5%を占めており、総合満足度も93.8%と高い評価を得ていることから適切に管理運営がなされていたことが伺える。

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評 価 区 分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市コミュニティセンター

総括（指定管理者の自己評価）

本年度は「地域コミュニティの交流拠点」としての機能を質・量ともに強化した結果、年間総利用者数は40,142人に達し、今年度の目標として掲げていた40,000人を達成することができました。

これは、幸手市コミュニティセンターが、市民の皆様の日常生活に欠かせない活動・交流の場として深く定着してきた成果であると言えます。

この利用者増を牽引した主な要因は、「公共利用」と「自主事業」の二本柱です。行政行事のほか、戦略的に展開したヨガ教室や季節のワークショップ等独自企画が大変好評を博し、全体の伸びを大きく支える原動力となりました。

また、施設の基盤であるサークル利用も、年間を通じて非常に多くの皆様に安定してご利用いただいている中、自治会関連の利用が伸びたことも、地域コミュニティ活動の活性化を象徴しています。

一方、自主事業が充実する中で「少人数・高頻度」の利用スタイル（利用者アンケートでは、週1回以上の高頻度利用が3割超、個人の運動不足解消など少人数の日常的・習慣的な利用が約半数を占める結果）が定着したほか、ボランティア室を「自習室」として通年開放した取り組みについても、学生層をはじめ新たな利用者層の獲得と施設の認知度向上に大きく貢献しました。

管理運営面では、社会情勢に伴う施設維持コスト高騰という厳しい課題に対し、軽微な施設修繕や館内外の植栽手入れなどをスタッフ自らの手で内製化することなどにより、徹底した経費抑制に努めました。

同時に、アンケートでもご要望をいただいた空調の不具合などに対しては、地元の業者と連携して迅速に対応することで、施設の安全性と利便性を維持しています。

今後も「多世代が集う快適な交流拠点」として、さらなるサービス品質の向上と安定した施設運営に努めてまいります。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市民文化体育館	施設 所管課	教育部社会教育課 0480-43-1111（内線 6 4 5）
指定管理者名	日本環境マネジメント 株 式会社	指定期間	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（2 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		4	4
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		4	4
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	77 100	77 100

総括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	別紙のとおり

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評価 区分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて 3 以上であり、かつ 4 が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて 3 以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に 2 が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に 1 が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市民文化体育館

総括（指定管理者の自己評価）

トレーニング室を中心に利用件数、利用料金ともに順調に増加している、一方で、アリーナの利用者数は減少した結果となった。

自主事業については、実施数は計画回数に満たなかったものの、実施した事業は人気の高い「劇団四季」の公演を始め「松平健コンサート」を開催し好評を得た。新たな試みとして幸手市様にも主催者としてご協力いただいた「宝くじ文化公演事業」を開催した。本事業では「アスカル幸手合唱団」を立上げ幅広い年代の方に合唱で参加いただくとともに、第九コンサートにも特別ゲストとして参加いただくことで、地域における文化芸術の振興と発展に寄与した。

また、部活動の地域移行に伴う実証事業として「ダンス体験教室」を開催し、成果と課題を得ることで今後の移行に向け地域への貢献となったと考える。

総括（施設所管課の評価）

協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。

施設の管理面については、適宜必要な修繕を実施していたほか、ARトレーニングマシンを導入し、利用者のサービス向上の取り組みを行い、トレーニング室の利用者が増加するなどの成果が出ている。

運営面においては、自主事業として、柔道の元日本代表ウルフ・アロンさんによるアウトリーチ事業や、劇団四季の公演の招聘など、魅力のある質の高い事業を実施し、住民の福祉の増進に寄与したことを評価したい。

また「宝くじ文化公演事業」では、地域住民を対象に公募して「アスカル幸手合唱団」を立上げ、部活動の地域移行に関しても「ダンス教室」を開催していただき、地域における文化芸術の振興と発展に寄与した。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立武道館	施設 所管課	教育部社会教育課 0480-43-1111（内線 6 4 5）
指定管理者名	日本環境マネジメント株式 会社	指定期間	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（2 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		3	3
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	75 100	75 100

総 括	指定管理者 の自己評価	前年に引き続き武道団体と協力し、各種武道体験教室やチャレンジ武道、武道館まつりなどを開催した。参加者が気軽に武道に触れ、始めるきっかけづくりとすることで市における武道の振興に取り組んだ。夏場の暑さ対策として、事前に指導員控室の冷房をつけておくことで、涼しい休憩スポットを提供した。また、引き続き LED化にも取組み省エネ化に努めた。
	施設所管課 の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 施設の管理面については、適宜必要な修繕を実施していたほか、照明の LED化を行うなど、管理面において利用者の利便性向上への取り組みがみられた。また、運営面では、自主事業として、武道団体連絡協議会との連携により武道体験教室等を計画内の水準で実施した。

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評 価 区 分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて 3 以上であり、かつ 4 が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて 3 以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に 2 が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に 1 が含まれている）

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立図書館 外 1 施設	施設 所管課	教育部社会教育課 0480-43-1111(内線644)
指定管理者名	(株)図書館流通センター	指定期間	令和 7 年 4 月 1 日から 令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで (1 年目)

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		4	4
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか			
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		4	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	4
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		4	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		3	3
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	75 96	74 96

総 括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	協定書に基づく図書館業務については、適切に実施している。また、令和7年度も自主事業において新規事業を実施し、利用促進を図っていた。利用者アンケート集計結果の総合評価においても、満足度が改善しており、今後も研修等を通じて職員のレベルアップに努め、社会教育施設として市民サービスの向上や、安全で快適な読書空間の維持に努めてほしい。

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評 価 区 分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市立図書館 外1施設

総括（指定管理者の自己評価）

令和7年度は3期目の契約更新初年度となり、幸手市立図書館スタッフ一同、気持ちも新たに業務に取り組みました。特に10月から電子図書館事業がスタートしたことで、幸手市立図書館に新しい風を取り入れることとなりました。併せて既存事業の継続実施とともに新規イベントを開催することで、基本方針の実現に注力しました。一方、施設維持・管理面において当初予定していた事業が一部先送りとなったものがありました。

以下では、令和7年度における主要な取組みについて振返ります。

1 電子図書館について

令和7年10月より幸手市電子図書館を開設いたしました。対象は幸手市在住、在学、在勤の方としており、開設時点で幸手市在住で図書館の利用登録がある方全てにIDとパスワードを付与しています。引続き市民の期待や要望に応えられる資料を充実させていくことで、さらなる利用促進が図れるよう取り組んでまいります。なお、令和8年3月末までの実績は、購入ライセンス数＝214点、ログイン数＝788回、貸出回数＝322回となっています。始まったばかりで実績面ではまだまだですが、まずはコンテンツを充実させるとともに、認知拡大に努めることで次年度には各数値が大幅に増えるよう取り組んでまいります。

また、今後は幸手市内の小中学校と連携した電子図書サービス提供が予定されており、幸手電子図書館が教育支援の一助となれるよう、運営に向けた準備を進めていきます。

2 図書館イベントについて

今年度は多くのイベントを開催しました。計画外のイベントも複数あり、中でもメンタルヘルス講座や茶碗展示と呈茶は多くの方にご参加いただきました。計画内のイベントも軒並み前年以上の参加者があり、幸手図書館の事業を通して多くの市内、近隣の方の学び、交流の場になっていることは図書館スタッフにとっても大きな励みとなっています。

また、ボランティアでおはなし会等実施いただいている5団体が開催するおはなし会への参加者が1,000人の大台に乗りました。前年から110%増となっており、図書館を通しておはなし会が多くの子どもたちを楽しまれていることが分かります。引続きボランティア団体との連携を図りながら運営に努めてまいります。

3 利用者アンケートについて

総合的な満足度に関する肯定評価数の対前年比が本館101.7% 香日向111.9% web82.7%となりました。webに関しては前年より集計数を少なくした為数値が下がっていますが、割合的には僅かに満足度は上がっています。不満も全体的に減り、結果としては満足度が増加した形になりました。

しかし、過ごしやすさや利用頻度が年々低下・減少傾向にあり、課題点を見つけて改善策を実行していききたいと思います。イベントの参加者が増えている、学習室等の利用数は伸びていることが現状の強みであるため、来館者に向けたより良いサービスの提供を模索していきます。

また、スタッフの対応に関する満足度が前年比で本館100%、香日向98%、web80%（割合的には前年と横ばい）となり、引続き多くの方に一定の評価をいただいていることは大変うれしく思います。今後とも利用者の方に寄り添った対応を心がけて図書館サービスの提供を行ってまいります。

次年度においても図書館運営の基本方針に基づき、電子図書館事業の拡充を始め、多角的な視点で様々なイベントを開催し、図書館を通じて幸手市民老若男女が求める情報や知識を享受していただけるよう努力してまいります。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市放課後児童クラブ	施設 所管課	健康福祉部こども支援課 0480-42-8454（内線718）
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	令和 7 年 4 月 1 日から 令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで（1 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	2
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	2
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		3	3
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	75 100	73 100

総括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	別紙のとおり

総合 評価	特記事項	B
----------	------	---

評価 区分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手市放課後児童クラブ

総括（指定管理者の自己評価）

指定管理業務の開始初年度として、まずは管理運営の基盤構築と、基準に則った適切な施設運営の遂行に注力いたしました。

1：履行の確認事項について：法令順守および協定書に基づいた業務運営をしました。職員体制については、適切な人員配置と定期的な研修（安全管理・守秘義務等）を実施し、サービスの質の維持に努めました。施設維持管理、清掃、警備業務についても計画通り実施し、安全で清潔な施設環境を保持しております。

2：サービスの質の評価について：利用者（児童および保護者）が安心して利用できるよう、日々のコミュニケーションを大切にしました。年度内には保護者アンケートを実施し、得られた意見をもとに細かな備品の改善やプログラムの検討を行うなど、満足向上に向けた土台作りを行いました。

3：管理運営の安定性について：事業収支に関しては概ね計画通りに推移しており、健全な経営状態を維持しています。次年度以降は今年度構築した基盤を活かし、さらなるサービスの充実と地域連携の強化、効率的な施設運営の継続に取り組んでまいります。

総括（施設所管課の評価）

運営が指定管理者となって初めての年ということもあり、継続しての利用者や職員との認識のずれやこれまでやってきたことについての要望など、指定管理者としての土台作りで苦慮すること多かったと思うが、出来る限り要望に応える姿勢で取り組んでもらえたことで、利用者からの好意的な意見も多くなったと考える。

職員体制の確保について、月単位で見るとクラブによっては常勤の確保が難しい月もあったが、年度内には体制が確保されていた。今後も継続してもらいたい。

一方で、事務担当者と現場職員との意思疎通がスムーズにいけないことでの対応もいくつかあったと認識している。これまで市が対応していた部分も指定管理者での対応となっているので、当課も含め関係者での認識の共有、連携をさらにしっかりとしていきたい。

実績報告に係る書類等を正確に期間内に作成いただくよう留意いただきたい。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手総合公園 外 6 公園	施設 所管課	建設経済部都市計画課・教育部社会教育課 0480-43-1111（内線 5 6 2）
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社	指定期間	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（2 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		3	3
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		3	3
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		4	4
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		4	4
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	77 100	77 100

総括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	別紙のとおり

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評価 区分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて 3 以上であり、かつ 4 が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて 3 以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に 2 が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に 1 が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

幸手総合公園 外6公園

総括（指定管理者の自己評価）

全体を通して適切に指定管理業務を行うことができました。

- ・施設管理について、B&G海洋センター体育館の床改修工事を実施。競技環境の向上を図りました。また、電力会社を変更し電気料金の削減に努めました。

- ・施設利用状況について、令和6年度に対して、利用者数、利用件数ともに減少となりました。要因としては、4月の体育館床改修工事に伴う利用制限、夏季期間の利用減少と考えます。

- ・自主事業教室について、B&G海洋センターにて、一般向けヨガ教室を2教室、子ども向け体操教室を8教室、年間通して実施、市民の健康増進・青少年の健全育成に努めました。また、自主事業物販ではスポーツ用品や食品を販売し、特に焼き芋販売は利用者のみならず、近隣にお住まいの方々にも購入いただき、総合公園が、地域の憩いの場となっており、利用者満足度の向上、自主事業収入の増加に繋がっております。

- ・B&G財団事業について、さってBG塾を開催し、夏休み期間中のお子様へ、学習支援・体験学習の機会を提供いたしました。

- ・市主催事業への協力について、幸手さくらマラソン大会では事前準備や実行委員としてご協力いたしました。

- ・維持管理について、突風による倒木や枯損木の伐採・撤去を適時実施いたしました。その他維持管理業務に関しても安心・安全に施設をご利用いただけるよう努めました。

総括（施設所管課の評価）

年間を通し適切な管理運営を実施していた。

- ・施設利用状況について、R6年度と比較して利用者数及び利用件数は減少しているが、昨今の暑さ指数の上昇により夏季期間の利用率が低くなっている中で、全体の減少率は2%未満となっており、施設の管理業務及び利用促進業務が適切に実施されたことによって、減少率も低くなっていると考えられる。

- ・B&G財団が開催する事業やイベントに参加し、『特A』評価を取得できたことは評価できる。

- ・幸手さくらマラソン大会では、事前準備や実行委員として積極的に協力いただいた。

- ・公園維持管理については突風による倒木や枯損木の伐採・撤去など、安全管理に迅速かつ適切に対応し安心・安全に利用できる環境整備へ尽力いただいた。

令和 7 年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	平須賀南公園 外 4 公園	施設 所管課	建設経済部都市計画課 0480-43-1111（内線562）
指定管理者名	パークマネジメント 3	指定期間	令和 7 年 4 月 1 日から 令和 1 2 年 3 月 3 1 日まで（1 年目）

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅰ 履行の確認				
1 施設全般管理運営に関する業務				
(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか		3	3
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか		3	3
(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか		3	3
2 施設利用に関する業務				
(1) 利用状況 ①	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか		3	3
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか		3	3
3 保守点検並びに清掃等業務等				
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか		3	3
(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか		4	4
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか		3	3
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか		3	3
4 事業の実施に関する業務	基準に基づく指定業務・自主事業が適切に行われたか		3	3
5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか		3	3
6 管理目標 ②	設定目標に対する結果は妥当であるか		3	3
7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか		3	3
8 その他				
(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか		3	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか		3	3
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか		3	3
(4) 報告書等	報告書等が適切に提出されているか		3	3
Ⅱ サービスの質の評価				
1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか		3	3
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか		4	4
3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか		3	3
4 指定事業・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか		3	3
5 その他	特筆する取組はあったか（施設特性に応じた取組、地域貢献など）		4	4
Ⅲ サービスの安定性の評価				
1 事業収支 ③	事業収支は妥当であるか		3	3
2 経営状況分析指標 ④	経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
3 団体等の経営状況 ⑤	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか		3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計（得点／満点）	78 100	78 100

総括	指定管理者 の自己評価	別紙のとおり
	施設所管課 の評価	別紙のとおり

総合 評価	特記事項	A
----------	------	---

評価 区分	評価 点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
		3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
		2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
		1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
	総合 評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が過半数である）
		A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
		B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
		C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）

令和7年度 指定管理業務 事業評価書（別紙）

平須賀南公園 外4公園

総括（指定管理者の自己評価）

- ◎全体的な指定管理業務は計画どおり実施できた。収入については減少したが、人件費・管理費等の抑制が出来たことで、最終収支としては利益を出すことができた。
- ・支出は人件費や業務効率を企業努力、管理費は植栽管理のマルチ化を行い、抑制することができた。
 - ・受付～巡回清掃及び維持管理全般は計画どおり進め、仕様書以上の回数を実施できた。
 - ・自然災害等の警報は危機管理体制に基づいた準備が徹底できた。施設等は予防保全を徹底するもいたずらや鳥獣等、防ぎきれない事故がおきてしまった。
 - ・利用者ニーズである平須賀南公園の日陰対策として、代表団体本社の支出において桜樹木10本の植樹をした。
 - ・補助資料の収支計画値については、上期の進捗を踏まえ、団体として収支黒字化・キャッシュフロー化を達成すべく修正予算を編成。（所管課承認済み）

総括（施設所管課の評価）

巡回清掃や維持管理業務では、計画を上回る回数の実施が達成されました。この取り組みにより、利用者にとって清潔で快適な環境が日々提供され、高く評価できます。また業務の回数の充実だけでなく、園路清掃や遊具清掃など細部にまで及ぶ維持管理が丁寧に行われていた結果として、清潔な状態を一貫して維持できていることも評価します。これにより、利用者からの満足度が高い状況が伺えます。

公園内で発生した雑草や落ち葉を活用して作成された腐葉土を配布することで、地域への貢献に積極的に取り組んでいる点も評価します。

報告内容からは、計画的かつ柔軟に業務が遂行されている状況が確認できました。

今後はさらに、利用者満足度の向上や公園の魅力を高める自主事業の展開、SNSを活用した情報発信を含めた取り組みに期待しております。